

漁業用燃油価格安定対策事業
事業参加契約団体 御中

一般社団法人漁業経営安定化推進協会
＜公印省略＞

平成30年度第1四半期(平成30年4～6月)の補填判定結果について

【 漁業用燃油 】

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成30年度第1四半期(平成30年4～6月)の平均原油価格につきましては、49,473.3円/klで価格差補填の基準価格(7中5平均原油価格×100%=48,908.1円/kl)と、急騰対策補填の発動要件①(平均原油価格×85%=41,571.9円/kl)及び②(前年同期の平均原油価格×120%=41,724.0円)を超過したため、価格差補填の特例として急騰対策の補填単価:7,060円/klで補填発動となりましたことをご連絡いたします。

なお、購入実績数量の報告につきましては、1次支払の団体は8月中旬までにご利用します。2次支払の団体は8月末までにご報告ください。詳しくはスケジュールをご覧ください。

(購入実績数量の報告シートにつきましては、後日送信いたします)

| 平成30年度第1四半期(平成30年4～6月)の平均原油価格 | | | | |
|-------------------------------|----------|----------|-----------|---------------|
| 4月 | 5月 | 6月 | 合計 | 四半期平均 |
| 46,130.0 | 51,360.0 | 50,930.0 | 148,420.0 | 49,473.3 円/kl |

| ◎ | 価格差補填 | |
|---|------------------------|---------------|
| | 価格差補填の基準価格 (7中5平均原油価格) | 48,908.1 円/kl |

| ◎ | 急騰対策補填 | |
|----|--|---------------|
| ① | ○ 7中5平均原油価格 (48,908.1 円/kl) × 85% | 41,571.9 円/kl |
| ②※ | - 直前四半期の平均原油価格 (43,530.0 円/kl) × 120% | 52,236.0 円/kl |
| | ○ 前年同期の平均原油価格 (34,770.0 円/kl) × 120% | 41,724.0 円/kl |

※②について直前四半期と前年同期を両方満たす場合においては、直前四半期の価格を優先して採用します。補填単価の算出には平均価格の100%を用いて算出します。

| 平成30年度第1四半期(平成30年4～6月)の補填単価 (10円未満切り捨て) [急騰対策採用] | | 7,060 円/kl |
|---|--|------------|
| 補填単価算出式※ | (価格差補填の基準価格-前年同期の平均原油価格) × 1/2 (10円未満切り捨て) (48,908.1円/kl-34,770.0円/kl) × 1/2 | |

※急騰対策の補填単価を採用した場合、補填単価の上限は「価格差補填の基準価格-直前四半期(又は前年同期)の平均原油価格」となります。

| 補填単価の負担割合 | | | | | | |
|-----------|---------------|-----------------|------------------|---------------|---------------|-------------|
| 特別加入対策 | 通常 | | 価格差補填(108.5%ライン) | | 特別対策(117%ライン) | |
| | 4,160 | | 2,900 | | 0 | |
| | 国(1) 2,080 | 漁業者(1) 2,080 | 国(2) 1,933 | 漁業者(1) 967 | 国(3) 0 | 漁業者(1) 0 |
| 未特別加入対策 | 通常 | | 価格差補填(108.5%ライン) | | 特別対策(117%ライン) | |
| | 4,160 | | 2,900 | | | |
| | 国(1) 2,080 | 漁業者(1) 2,080 | 国(2) 1,933 | 漁業者(1) 967 | 国(3) | 漁業者(1) |

以上

平成30年4～6月期における価格差補填金の特例 ・価格差補填と急騰対策の両方の基準を超過

価格差補填金単価(7中5):560円/kl < 急騰対策補填金単価:7,060円/kl

漁業経営セーフティーネット構築事業の運用について(平成22年3月30日水産第3038号水産庁長官通知)第1の6の(4)の規定に基づき、価格差補填金の特例が適用されます。

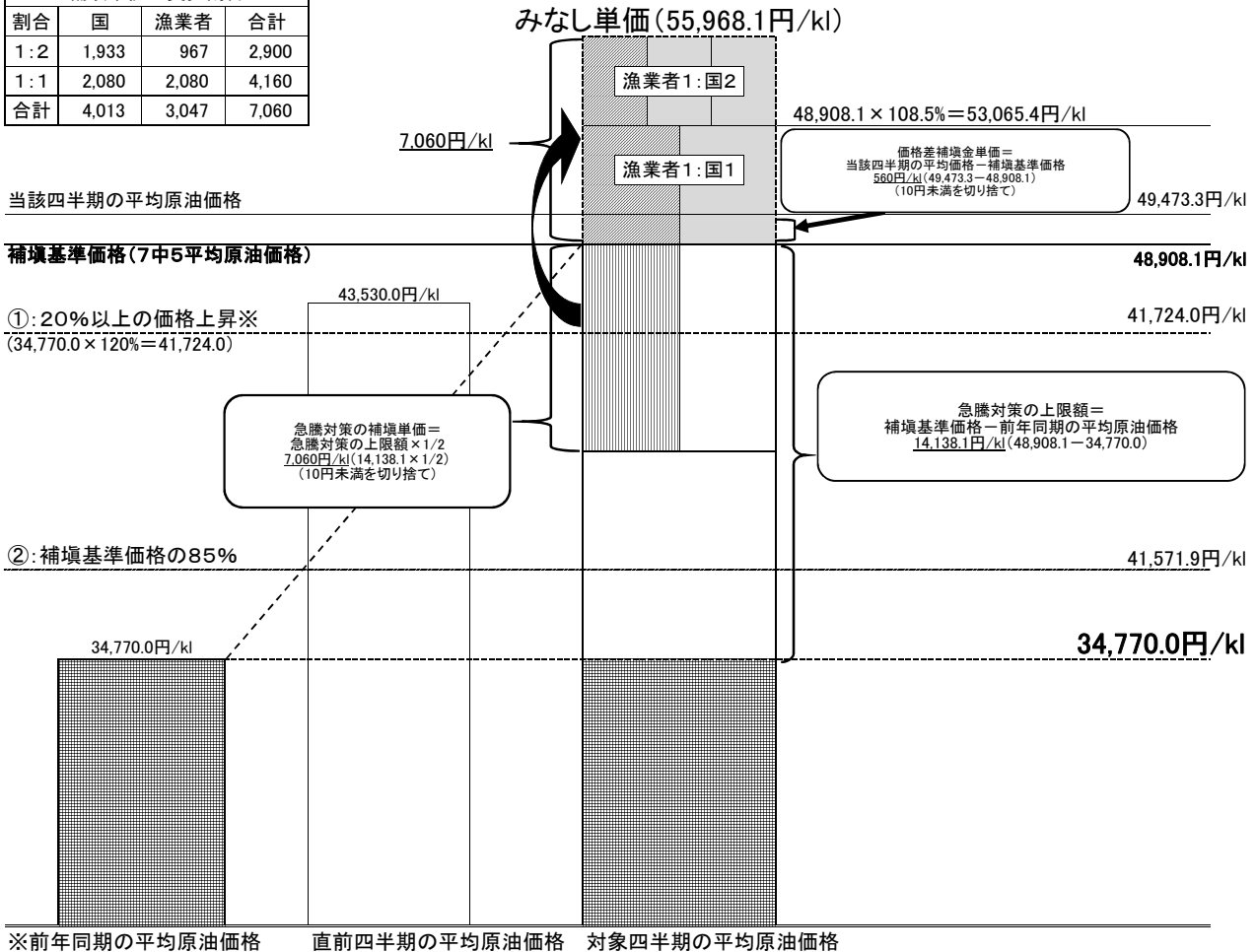
価格差補填金の特例を適用した補填単価は、7,060円/klです。

みなし単価=補填基準価格+急騰対策の補填単価
55,968.1円/kl(48,908.1+7,060)

1:2部分=みなし単価-補填基準価格×108.5%
2,900円/kl(55,968.1-53,065.4)(10円未満を切り捨て)

1:1部分=急騰対策の補填単価-1:2部分の単価
4,160円/kl(7,060-2,900)

| 補填単価の負担割合 | | | |
|-----------|-------|-------|-------|
| 割合 | 国 | 漁業者 | 合計 |
| 1:2 | 1,933 | 967 | 2,900 |
| 1:1 | 2,080 | 2,080 | 4,160 |
| 合計 | 4,013 | 3,047 | 7,060 |



- 急騰対策は、当該四半期の平均原油価格が補填基準価格(7中5平均価格)に達するまでが範囲となります。このため、当該四半期の平均原油価格が補填基準価格に達した場合には、価格差補填が発動します。
- 価格差補填と急騰対策補填の両方で基準を超過した場合は、どちらか大きい額が補填単価となり、価格差補填の仕組みによる発動となります。

したがって、価格差補填と急騰対策補填を合計した補填単価にはなりません。